

ブロッコリー栽培の肥料コスト低減に向けた技術実証に取り組んでいます

南加賀農林総合事務所

県では、安定した農業所得の確保に向けて、水稻から麦・大豆や園芸作物への作付転換を進めており、管内の加賀市では、ブロッコリーの栽培が拡大しています。今後、更なる増産を目指すこととしていますが、近年、肥料価格の高騰により生産コストが上昇し、農家の経営が圧迫されています。

特に、露地野菜であるブロッコリーは、施設野菜に比べて生産コストに占める肥料費の割合が大きく、肥料コストの低減が喫緊の課題となっています。そのため、当事務所では、高騰する化学肥料の使用量を削減することを目的に、農家と協力して2つの技術実証に取り組みました。

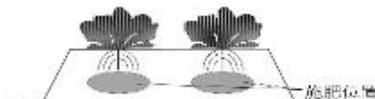
1つ目は、化学肥料に比べて安価で、県内の養鶏農家から入手できる鶏ふんの活用です。化学肥料の一部を鶏ふんに置き換え、農家のほ場で実証したところ、慣行の化学肥料に比べて生育はやや遅れましたが、収量・品質は同等の結果となり、化学肥料の代替としての効果が確認できました。

2つ目は、ブロッコリーの根が分布する位置にだけ、専用の機械を用いて肥料を施用する局所施肥という技術です。通常、ほ場の全面に肥料を施用するため、この技術を導入することで施用する肥料の量を減らすことが期待でき、実証では、生育・収量・品質いずれも慣行と同等であることが確認できました。

当事務所では、今回の実証やそれぞれの技術の経営評価の結果をもとに、化学肥料の削減技術の導入を進めるほか、引き続き、肥料コストの削減に向けた技術の確立を通じて、農家の所得向上を図ることとしています。



鶏ふんを活用したブロッコリーの生育状況



局所施肥機（上）および局所施肥の施肥位置のイメージ（下）

問い合わせ先：農業振興部（0761-23-1703）